



往還通信



往還風景

バイオリン演奏

10月1日(水)

大森先生によるバイオリンやハーモニカ演奏の他、数々のおもしろいお話をしていただき、笑いありの一時間。
途中でユニークな手品の披露に「わっ」と驚きの一瞬！
あれ～なんだろう？なにがおこったのかなあ？の連続に笑いがこぼれる楽しいひとときを過ごしていただきました。



大森先生のおもしろおかしな話に熱心に聞き入る皆さんの楽しげなご様子が拝見できます。
次に何が始まるのかな？期待と笑いの中、楽しいひとときをすごしていただきました。

11月の施設行事

5日(水) おやつバイキング

11日(火) 音楽療法
3階、ショート対象



12日(水) 音楽療法
2階、ショート対象

19日～21日・26日
朝日中央幼・保育園児来所



11月のクラブ活動

7日(金) 太極拳

6日(木) 書道クラブ

20日(木) 書道クラブ

28日(金) お花クラブ

今月は花水木・花菖蒲の紹介です。
(ショート)

食事の前にそろって食前体操をしています。むせたりせず、飲み込みをよくするために、口を大きく開けたり、首を前後左右に動かしたり、声をだしたりするお口の体操です。



排泄ケア、男性は「妻から」、女性は「プロや娘から」



排泄ケアを受ける場合、男性は妻にしてもらいたい、女性は施設や病院の職員、娘にしてもらいたい。こうした傾向が強いことが、ユニ・チャーム（本社・東京都港区）が全国の中高年に対して実施した介護に関する意識調査で明らかになった。



調査は、同社が今年9月11日から17日にかけて、全国の40—80歳代の男女542人（男性267人、女性275人）に対して実施した。

「誰かに排泄ケアをしてもらねばならないとしたら、誰が一番してもらいたいか」との問いには、男性の66.7%が「配偶者」を選んだのに対し、女性では32.7%が「施設や病院の職員」を、25.1%が「娘」を選択。

「配偶者」を選んだのは20.7%だった。同社では、「男性は妻を頼りにしているものの、女性は夫を当てにせず、介護のプロや娘を希望しており、夫婦の意識にはギャップがあるようだ」と分析している。

また、「配偶者に排泄ケアをしてもらうことについてどう思うか」との問いには、男性の54.7%が「仕方ないことだ」を選択した一方、女性では46.9%が「できればしてもらいたくない」、14.9%が「絶対にしてもらいたくない」を選んだ。

■「在宅でプロの手借りて」

調査では、「介護をする時に望む環境」「介護を受ける時に望む環境」など、介護全般についての意識調査も行われ、「在宅でプロの手を借りて介護したい、介護してもらいたい」との回答が多数を占めた。

「両親や配偶者を介護しなくてはならなくなったら、どのような介護環境にしたいと思うか」との問いには、「在宅でヘルパーなどプロの手を借りて介護したい」が52.8%と過半数を占め、以下は「施設や病院に入れて介護は任せたい」18.1%、「在宅で兄弟や子供と協力・分担しながら介護したい」17.2%、「在宅で自分で介護したい」11.8%と続いた。

一方、自分自身に介護が必要になった場合、「どのような環境で介護を受けたいか」との問いには、「自宅でヘルパーなどプロの手を借りながら介護してもらいたい」が43.2%、「施設や病院に入れてほしい」が41.0%と多数を占め、「自宅で家族に介護してもらいたい」は15.9%だった。

また、「自分で介護する際に一番大変だと思う日常生活の介助内容はどんなことか」との問いには、「排泄」が57.2%、「入浴」が36.3%と多数を占め、「食事」は4.6%、「歩行」は0.7%だった。「日常生活において最低限『これだけは』自力で行いたいことは何か」との問いには、「排泄」が92.1%と圧倒的多数を占めた。

排泄で困る前に排泄に関して勉強していこうという集まりが「四日市排泄を考える会」で2ヶ月毎に講演会や勉強会を行っています。興味のある方は案内状をお送りしますので何なりと往還のスタッフまで。

こめだ腎・泌尿器科 米田 勝紀

編集部より

ようやく秋らしくなってきましたね。
ユニットごとで、外に散歩に出かけたり食事や買い物、文化祭等の催し物に出かける機会が多くなってきました。

11月3日(月)川越町ふれあい祭りにて川越町のふれあい祭りに参加しました。たくさんの人達でにぎわう中、いろいろなバザー等に目をとめて気に入った物を購入され、楽しくすごされる様子を拝見できました。



ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア

アドバイス

入れ歯のお手入れ法

入れ歯は人工の歯なので、むし歯にはなりません。

けれどもきれいに見えても細菌が付着していますし、汚れたままにしておけば、口臭の元となったり、黒ずんできたりしますから、長もちさせるためには、正しいお手入れが必要です。

歯磨きのように毎食後に洗うことが理想的ですが、せめて寝る前に1回一度はていねいに洗いましょう。

毎日のお手入れは、入れ歯専用ブラシを使って水で洗い流します。眠る時は、洗った後に水の中に入れて保管します。清潔に保つために、水は毎日取り替えてください。

そして、3日に一度は入れ歯専用の洗浄剤で汚れを浮かし、その後、ブラシでこすって洗浄剤と汚れを洗い流します。

熱湯や漂白剤につけるのは変色や変形のもとになるので避けてください。また、乾燥も変形のもとになるので、必ず水の中に入れて保管しましょう。

歯科衛生士 水谷 敦子